

「情報リテラシー」と 「ファクトチェック」入門

目次

- 01： 今日の授業のねらい P. 3
- 02： 情報リテラシーの獲得のために P. 6
- 03： ファクトチェックの必要性 P.15
- 04： ファクトチェックの具体的な手法 P.17
- 05： 実際にファクトチェックをやってみよう P.20

情報リテラシー の獲得

情報環境の特性や仕組みを把握し、現代の混乱した情報にどう向き合えばよいかを学ぶ。

ファクトチェック を身につける

ファクトチェックの基本を身につけて、情報環境を良くすることに取り組めるようになる。

SNSなどを通じて、誰でも情報を発信できる時代。

間違った情報を広めることで、世の中を混乱させることに手を貸していないか？

➤ そもそも「情報リテラシー」とは？

リテラシーは使いこなす能力のこと。

情報を読み解き、見極める力のことを意味する。

➤ では「ファクトチェック」とは？

「情報リテラシー」の基礎となる、情報を冷静に受け止めて検証・確認する行為

➤ どうして「情報」って大事なの？

情報は、私たちが意見を持ったり、判断をしたり、行動したりすることのきっかけだから。事実でない情報は、誤った行動や判断につながるから

➤ どうして今改めて「情報」を取り上げるの？

情報量の急増、ネットなど技術の発展と特性への理解、誤情報の反乱に私たちが対応できていないことを認識しないと、誤りを犯してしまうかもしれないから。

誤った情報＝デマがどんなことを引き起こしてきたでしょう？

ネットが広まる以前：

ネットが広まった以後：

- ① 私たちの置かれた環境について
- ② キーワードから学ぶ
- ③ 私たちのとるべき姿勢

① 私たちの置かれた環境について

スマートフォンやSNSの登場で、急激に私たちが触れる情報量が増えている。そこには、誰が発信したかわからない情報が流れており、しかも意図的な偽情報や誤情報も多い。

それら偽・誤情報は、社会に大きな悪影響を及ぼしている。

社会の混乱、あるいは分断という言葉聞いて、皆さんはどんなことを連想しますか。

次のページから、現代社会において、情報が混乱を引き起こす仕組みについて、キーワードで学んでいきます。

01. アテンションエコノミー



- ・ 情報に触れる時間が価値あるものとして取り扱われる経済モデル。



- ・ 人々の関心・注目を集めることが重要視されるため、特にインターネット上では、過激なタイトルや内容、憶測だけで作成された事実に基づかない記事等が生み出されることがある。



02. アルゴリズム



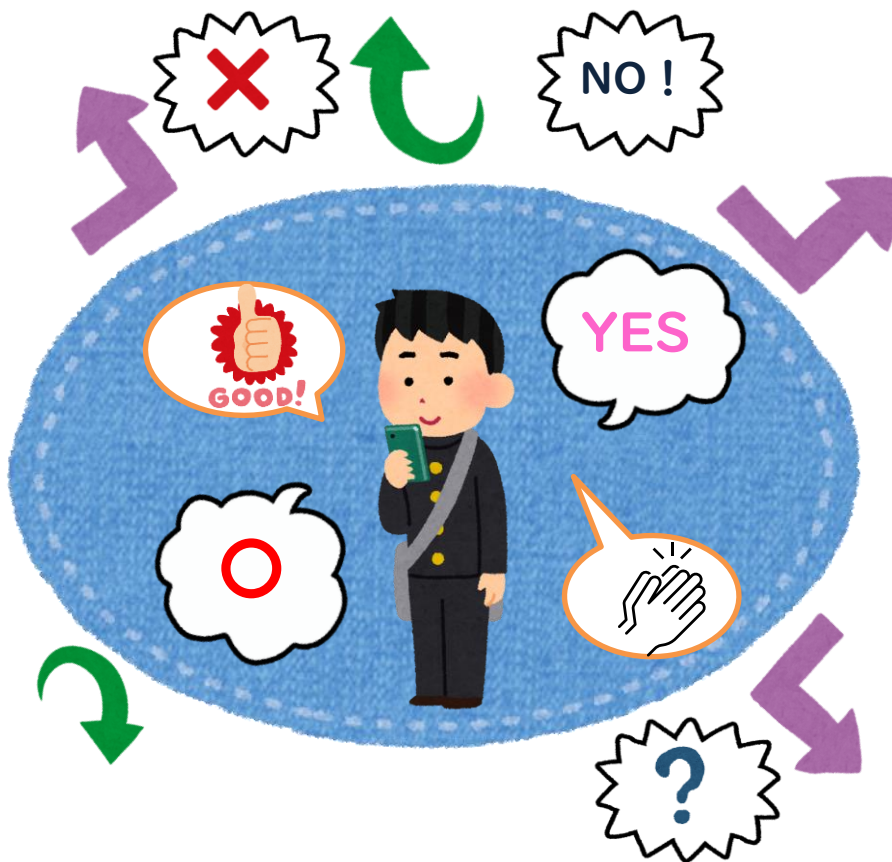
- ・ 問題解決のための手順や計算方法を意味する言葉
- ・ インターネットの事業者は、利用者の利用履歴（どこでクリックしたかなど）を分析し、レコメンデーション（顧客の興味や関心に合わせた商品や情報を提供する仕組み）やターゲティング広告（ユーザーの属性や閲覧履歴等に基づいてターゲットを絞って広告を配信する手法）という形で、利用者が関心のある情報を優先的に配信している。

03 フィルターバブル



- ・ アルゴリズム機能で配信された情報を受け取り続けることにより、自身の興味のある情報だけにしか触れなくなり、あたかも情報の膜につつまれたかのような状況

04 エコーチェンバー



- ・ 自分と似た興味・関心を持つユーザーが集まる場でコミュニケーションする結果、自分が発信した意見に似た意見が返ってきて、特定の意見や思想が増幅していく状態。
- ・ 反対意見に触れると感情が高まり、誰かを攻撃することにもつながりかねない。

05 確証バイアス



- ・ 自分の考えや仮説に沿うような情報だけを集め、これらに反するような情報は無視する傾向のこと。
あるいは無意識的な部分も含めて自説に有利な情報を集める傾向。
- ・ これは、もともと人間に備わっている傾向であることに留意。（ネットを利用しない場合であっても注意が必要）

その情報は、自分で選んだものではなく、選ばされたものかもしれない。

しかも、その中に混ざっている偽情報や誤情報を信じてしまうことにもなりかねない。

だまされないためには

- ✓ ネットの情報については、常に立ち止まって考える。
- ✓ 動画や音声は、加工されている可能性を疑う。
- ✓ 複数の情報源をチェックする。また、信頼できる情報源を探す。

そして、

- ✓ 確かだと確信できない情報は拡散しない。

- ・情報の真偽を見極めるための知識を身につけておくと、怪しい情報に気づきやすくなる
- ・他人をあてにするのではなく、自分でその情報のどこが間違っていて、何が正しいのかを調べて確認できる力を身につけてはどうだろうか
- ・自分が確認した結果を、根拠も併せて、周囲の人にも広めていくことができれば、今の情報の混乱はよくなるのではないだろうか？

ファクトチェック

～意見や判断ではなく事実を検証する～

- ◆ どのような情報を対象にするべきか
- ◆ 意見や推測ではなく事実のみを確認する
- ◆ 不確かな情報ではなく、証拠があり信頼できる情報を基に確認する
- ◆ 第三者が同じように検証できるように記録を残す

A I 時代を迎え、フェイクの作成はますます精巧になってきている
映像や音声は加工されているものと考えよう

情報をすぐに受け入れるのではなく、
クリティカルシンキング（吟味思考）が大切になっている

03 ファクトチェックの具体的な手法

A. 怪しい情報の内容が本当なのかGoogle検索でたどってみる

1 検索を上手に活用する

- ・怪しい情報：「ワクチンを接種した人は献血ができない」
- ・ヒント：献血事業を実施している機関はどこでしょう？

2 検索窓に複数の言葉を入れて絞り込む

- ・関連しそうな複数のキーワードを入れて検索。いろいろな組み合わせを試してみる

3 サーチオペレーターを使う

- ・ドメインで絞り込む→日本政府の発信した情報に限定するためには、検索したい言葉に「site:go.jp」を付け加える。
- ・時期を絞り込む→「after:」あるいは「before:」と日付を組み合わせる

03 ファクトチェックの具体的な手法

B. 画像や動画を検証してみる

1 その画像はオリジナルか確認する

- ・ 画像上で右クリックし、Google Lensで検索してオリジナルの画像を探す。
- ・ 対象の画像より時期の古いものが見つければ、誤りだとわかる。

2 動画を検証してみる

- ・ 動画の外で右クリックし、動画部分を範囲指定した上でGoogle Lensで検索してオリジナルの動画を探す。
- ・ YouTubeの検索機能などを活用してオリジナルを探す。
- ・ 「信頼できる」マスコミの情報を活用することも。

03 ファクトチェックの具体的な手法

C. 生成AIで作成された画像や動画を検証してみる

1 画像や動画に不自然な箇所がないかよく見てみる

- ・人物の動画で、顔の一部だけが動いていたたりするなど不自然なところがないか。
- ・影と本体が一致しなかったり、画像や動画の一部だけが不明瞭になっていたりするなど、不自然な箇所はないか。
- ・看板の文字が文字になっていないなど、不自然な箇所はないか。

2 大きな画面で確認してみる

- ・AIにより生成された画像等は精巧。上記のような不自然な箇所はスマホ画面では気づきにくい。大きな画面でよく見てみることも大切。

AIによる精巧な偽情報が氾濫する現在であるからこそ、
多様な見方を尊重し、一つの意見を鵜呑みにせず、よく考え、行動する
クリティカルシンキング（吟味思考）が非常に重要

04 実際にファクトチェックをやってみよう



@_〇〇△△□□

Japan To Ban Vaccinated People From Donating “Tainted Blood”

March 21, 2024 2M views



コロナワクチンを接種すると献血が禁止されるという情報が、コロナウイルスのワクチン接種が始まった2021年から投稿されるようになり、現在まで繰り返し拡散しています。

本当に禁止されるのか、
「A. 怪しい情報の内容が本当なのかGoogle検索でたどってみる」方法で確かめたいと思います。

画像解説: 拡散した投稿
「コロナワクチンを接種すると献血が禁止される」

04 実際にファクトチェックをやってみよう

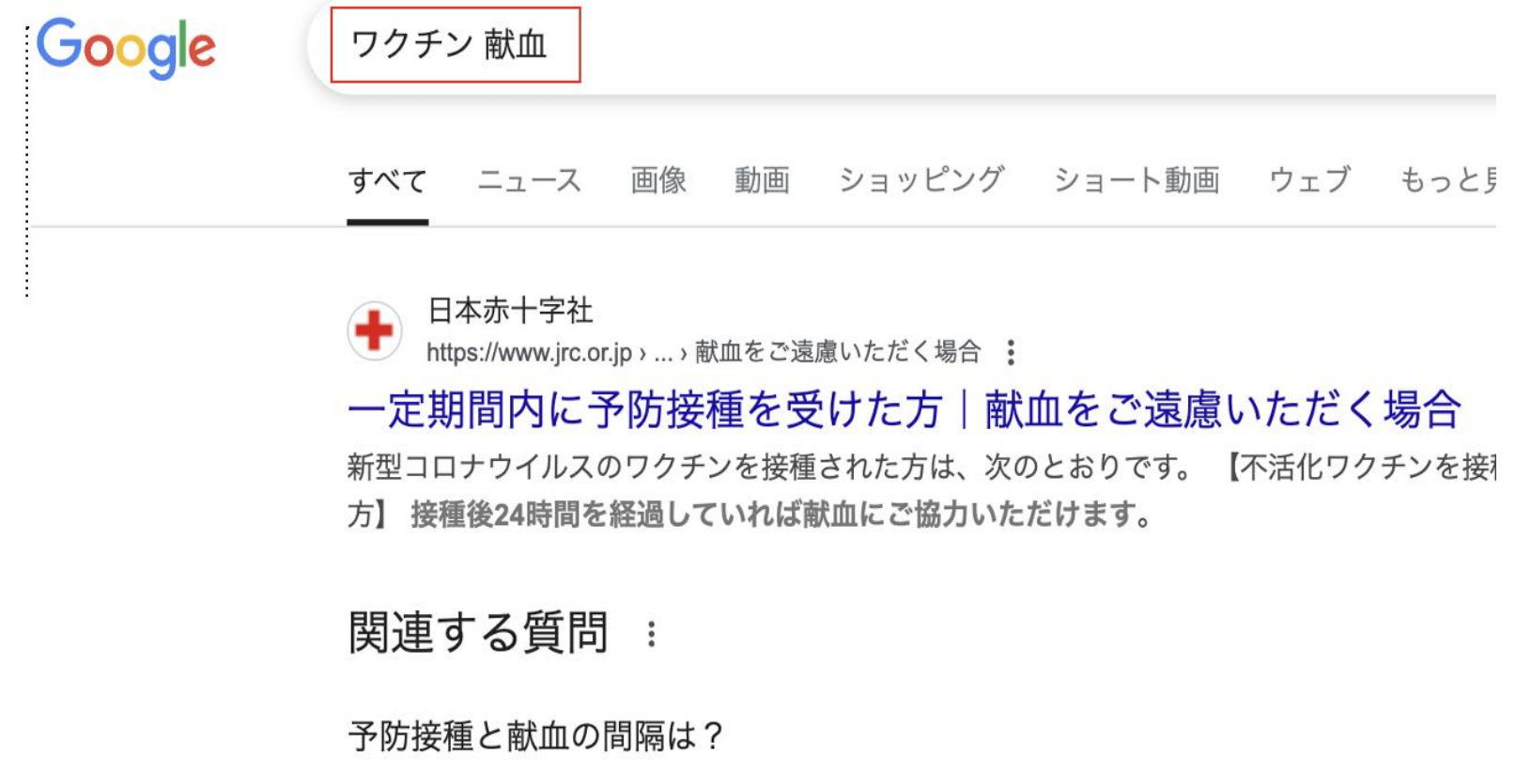
検索の窓にどんな言葉を入れればいいでしょうか。

「ワクチン」と「献血」、もしくは「献血禁止」でどうでしょうか。

これで検索すると、日本赤十字社の「一定期間にワクチンを接種した方」というタイトルのページが出てきます。

日本で献血事業をしているのは日本赤十字社ですので、HPの信頼性は高いはずです。

ではこのウェブサイトにな書かれていることを読みましょう。



画像解説:「ワクチン」「献血」の二語での検索結果



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。

赤十字について

寄付する

国内災害救護について

国際活動について

献血について

赤十字ボランティア・

一定期間内に予防接種を受けた方

インフルエンザ、日本脳炎、コレラ、A型肝炎、肺炎球菌、百日ぜき、破傷風等の不活化ワクチン：
血をご遠慮いただいています。

B型肝炎ワクチンの接種を受けた方は接種後2週間、抗HBs人免疫グロブリンを単独または併
にかまれた後)を接種された方は接種後1年間の献血をご遠慮いただいています。

【RNAワクチン(mRNAワクチンを含む)】

接種後48時間を経過していれば献血にご協力いただけます。

例)ファイザー社、モデルナ社、第一三共社、MeijiSeikaファルマ社

※オミクロン株対応のワクチンを含む

このサイトには、コロナウイルスに限らず、さまざまなワクチンに関して接種から一定期間は献血ができないことが書かれていますが、「コロナワクチンは接種後48時間を経過していれば献血にご協力いただけます。」と書いています。

したがって「献血禁止」や「できなくなる」は誤りです。

このように、信頼できる情報源をGoogle検索で探し出して、その情報源をよく読むことでファクトチェックします。

画像解説：日赤のウェブサイト「一定期間内に予防接種を受けた方」